

令和 8年 4月 17日

柏市議会議長 坂巻 重男 様

会派名 柏エナジー

代表者 上橋 しほと



政務活動費収支報告書

柏市議会政務活動費交付条例第13条第1項の規定により、令和7年度
政務活動費に係る収支報告書及び領収書等を提出します。

1 収 入

240,000 円

2 支 出

科 目	金 額 (円)	備 考
研 修 費	0	
調 査 旅 費	7,228	
資 料 購 入 費	0	
資 料 作 成 費	0	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
そ の 他 の 経 費	0	
合 計	7,228	

3 残 金

232772 円



会計帳簿

7 年度

会派名 柏エナジー

支出科目 調査旅費

[illegible]

視察用

旅費支払申立書（会派用）

旅費について、次のとおり支払ったので申し立てます。

1 支払年度 令和 7 年度分

2 支払金額 7,228 円

3 支払内容

期 日	行先	参 加 議 員 名	旅費の額(円)
R 7・8・19 ～	熊谷市役所	北村 和久 上橋 しほと	5,604
R 7・8・29 ～	北千住駅西口 美観商店街	北村 和久 上橋 しほと	1,624
R . . . ～			
R . . . ～			
R . . . ～			
R . . . ～			
R . . . ～			
合 計			7,228

令和 8 年 4 月 17 日

会派名 柏エッジ

代表者 上橋 しほと

旅 費 計 算 明 細 書

氏 名	北村和之 他 1 名			職務の級	議員	種 別		
						研修会等への参加	行政視察等	
期 間	令和7年8月19日					J R 特急料金区分	閑散期 通常期 繁忙期	
出張先 市区町村名	埼玉県熊谷市		出張先 施設等名	熊谷市役所				
宿泊地								
月 日	発着・経由地	会社名	運 賃	急行料金 特急料金	旅行雑費	宿泊料	食卓料	その他
8/19	柏	東武野田線	円 607	円 (km)	円	円	円	
	大宮	JR	594	円 (km)				
	熊谷	ゆうゆうバス	200	(km)				
	市役所前	徒歩		(km)				
	熊谷市役所	ゆうゆうバス	200	円 (km)				
	市役所前	徒歩		(km)				
	熊谷	JR	594	(km)				
	大宮	東武野田線	607	(km)				
	柏			(km)				
				(km)				
				(km)				
				(km)				
				(km)				
	小 計		2,802					
備考					合 計 (1人当り)	2,802		

旅 費 計 算 明 細 書

氏 名	北村和之 他 1 名			職務の級	議員	種 別		
						研修会等への参加	民間視察等	
期 間	令和7年8月29日					J R 特急料金区分	閑散期 通常期 繁忙期	
出張先 市区町村名	東京都足立区		出張先 施設等名	北千住駅西口美観商店街				
宿泊地								
月 日	発着・経由地	会社名	運 賃	急行料金 特急料金	旅行雑費	宿泊料	食卓料	その他
8/29	柏	JR	406	円 (km)	円	円	円	
	北千住	徒歩		円 (km)				
	北千住駅西口美 観商店街	徒歩		(km)				
	北千住	JR	406	(km)				
	柏			円 (km)				
				(km)				
				(km)				
				(km)				
				(km)				
				(km)				
				(km)				
				(km)				
				(km)				
				(km)				
				(km)				
	小 計		812					
備考						合 計 (1人当 り)	812	

視 察 報 告 書 (会 派 用)

報 告 日 令和7年 8月 26日

会 派 名 柏エナジー 会派の代表者 北村 和之

視察年月日	令和7年 8月19日(火)～ 年 月 日()
視 察 先	埼玉県熊谷市
視 察 目 的	駅前ミストシャワーの運用について
相手方対応者	様 (議会事務局長)、様 (議会事務局主査)、様 (環境部環境政策課長)、様 (環境部環境政策課主任)
視察議員名	北村 和之 上橋 しほと
視 察 内 容 ①設置導入に至った経緯 平成19年8月16日に当時74年ぶりとなる国内最高気温40.9℃を記録したことで、有効性かつ実効性のある暑さ対策を講じることが喫緊の課題となった。そこで同年10月1日に「熊谷市ヒートアイランド対策推進都市」として日本一暑い熊谷市が様々な事業に取り組み、暑いまちをクールダウンし快適に過ごせるまちを目指していくことを宣言した。全庁をあげて暑さ対策に取り組むべく暑さと快晴日数の多さを利活用し、環境にも大きく配慮した事業アイデアを職員から集約して、「あっぱれ！熊谷流プロジェクト」に取り組む事となった。同プロジェクトの1つの事業として職員から発案されたアイデアである「冷却ミスト事業」を位置づけ、暑い熊谷における快適な涼しさを提供することを目的とし、導入に至った。 ②設置した冷却ミスト装置 平成20年度に熊谷駅正面口、東口、南口に設置し、供用開始した。建設部局主導で導入がなされ、その後環境部が運用・管理を受け継いだ。2005年の愛・地球博における冷却ミスト装置実証実験を担い、熊谷市内に工場も立地している能美防災株式会社の機種を採用した。導入コストは熊谷駅前市道3箇所で総額47,775,000円かかった。100%熊谷市が出資している。 2019年ラグビーワールドカップ日本大会開催前に熊谷駅正面口のリニューアル	

アルを行った時に移設がなされ、現在の位置で稼働している。またラグビーW杯を迎えるにあたり、平成30年度には隣の籠原駅前2か所にもミストシャワー装置が設置、供用開始された。現在は熊谷市内に計5か所（熊谷駅3か所、籠原駅2か所）に設置されている。保守については能美防災株式会社に委託しており、5か所の保守委託で年間187万円（税込）ほどかかっている。

熊谷市は「人がより集まるところは駅前であり、そこに設置することが効果的である」という判断に至り、市内の公園、公共施設などへは設置を行っていない。

設備更新は数年に1回必要となり、1,300～1,500万円の費用が掛かる。人通りが多い駅前での工事であることや、アスベスト調査など法律で義務付けられている調査も行わなくてはならない。交換時期は部品・部材によって使用推奨期間が異なるため、運用状況を鑑みながら適宜更新を行っている。

③ミストシャワーの運用状況、設備の管理・保守点検の状況

ミストシャワーの噴霧時間は7時～20時となっている。稼働条件は①気温28℃以上、②湿度75%未満、③風速3m未満、④降雨なしとなっており、観測センサーが①から④までの条件を満たしたと感知した場合に、自動でミストが噴霧される。シングルノズル（1本）タイプと蜘蛛ノズル（6本）タイプがあり、ノズル1本から50ml/分のミストが噴霧される。水の粒径は16μmである。噴霧期間はクールビズ期間と合わせて毎年5月から10月末までとなっている。

制御盤が敷地内にあり、行事開催時は手動運転（強制噴霧）モードに切り替えることで遅い時間帯まで稼働させることもあるし、動くはずの気象条件だが作動しないときなどに操作することがある。

毎年5月の稼働前にシーズンインメンテナンス、稼働後の11月にシーズンオフメンテナンスを行い、機器の点検や清掃を行っている。主な点検項目は、ドライミストノズル、高圧ポンプユニット、電動弁、制御盤をはじめとする電子機器類である。機器のタンク内に残った水については、毎朝4時の駅利用者がいないタイミングで噴霧を行い、タンク内の水を入れ替えることで不衛生な水が噴霧されることを防いでいる。完全に水抜きする時は窒素ガスを用いて行う。ノズルや水タンクの清掃も業者が行っており、内部への塩素固着対策も行っている。

ランニングコストとしては、熊谷駅正面口のミストシャワーでは令和6年度の実績が、水道代82,093円、電気代57,743円、であった。

④利用者の反応

平成20年度の導入後から5年間に渡り、駅利用者に対し職員からの声掛けによるアンケート調査を行った。毎年概ね「暑さ対策としてあったほうが良い」、「設置場所は適当」、「冷却ミストは涼しい」という回答を得られたことから、駅前のミストシャワーは好評であると評価している。「ミストシャワーのせいで濡れるので困る」という苦情は1～2年に1件程度寄せられるくらいであり、ほとんどない。また周辺外気温の変化も調査しており、ミスト稼働時は不稼働時に比べて3℃ほど外気温が下がることも分かっている。

熊谷駅前の装置はよく報道でも取り上げられるところから他市町村からも多く問い合わせをもらっているし、市内商業施設からも照会を受けた事がある。

視 察 報 告 書 (会 派 用)

報 告 日 令和7年 9 月 4日

会 派 名 柏エナジー 会派の代表者 北村 和之

視察年月日	令和7年8月29日(金)
視 察 先	東京都足立区北千住 (北千住駅西口美観商店街)
視 察 目 的	商店街ミストシャワーの運用について
相手方対応者	北千住西口美観商店街振興組合 理事長 [REDACTED] 副理事長 [REDACTED] [REDACTED] 事務局 [REDACTED] パナソニックマーケティングジ ヤパン [REDACTED]
視察議員名	北村 和之 上橋 しほと
視 察 内 容 ■北千住商店街でのミストシャワー設備導入事例 <u>導入の経緯と費用</u> ・ 6年前の東京オリンピック補助金(補助率約90%)を活用し総額約2億1千万円で導入。 ・ 商店街側がいったん全額立替後に補助金を受領。 ・ 銀行借入や制度改善の必要性も議論。 <u>ミストシャワー設備について</u> ・ アーケード全長約800m(駅から片側400m×2)に設置。 ・ 粒径約6ミクロンの細霧で「濡れにくさ」を実現。工事現場などの簡易ミストより体感的に濡れにくいとの話あり。実際に「ミストシャワーにより濡れて困る」などの声はほとんどない。 <u>水道・電源などインフラ対応</u> ・ 足立区水道と専用配管で直結。冬季はバルブを閉止し凍結防止。 <u>運用方法</u> ・ 約4ヵ月間、10:30～17:00の稼働。 ・ 当初のタイマー制での稼働は廃止し手動スイッチへ変更。	

- ・体感温度が約 25℃以上で稼働、雨の予兆時は停止。
- ・事務局常駐日に運転判断

②メンテナンスコストと設備更新

- ・年間メンテナンス費 250～300 万円、システム更新は 5 年ごとに約 1,000 万円見込み。
- ・電気代：年間約 100 万円 水道代：月約 4 万円

③技術仕様と耐用年数

- ・パナソニック製ノズル（生産終了済）を採用、耐用年数は 6～7 年程度。

設置場所と構造条件

- ・設置の高さ 2.8 m 付近が効果と安全のバランス点としていた。
- ・仮にアーケード未設置地域でも柱・壁アームで対応可能。（北千住商店街はアーケードあり）

④保険加入状況と補償範囲

- ・アーケード全体で最高 3 億円・年掛金 40 万円の保険に加入。（ミスト単独の保険なし）

⑤その他

- ・柏市が課題の 1 つとしていたノズルの塩素付着対策として、シーズン前後の清掃を実施。
- ・資金調達方法・行政補助が課題。区の補助金支援などは無く「財源不足」が壁。行政側に必要性が浸透していない。
- ・防犯カメラの導入初期などでも苦情が集中したが情報発信で理解を促進。現在では理解を得られている。

⑥ミストシャワーの利用者からの反応

- ・反応が良く、好意的な声が多数。